

## ステイホームの勧め

三年生のW・Mさんが「休校中に、文章ではなく、絵を描きました！」と言って、今日かわいらしいイラストを私にプレゼントしてくれました。

世の中で叫ばれている「ステイホーム」が作品のテーマです。「つまらない」「退屈だ」というイメージが離れないステイホームですが、絵を見てわかるように、決して悪いイメージばかりではありません。人は家の外に出て刺激を求め、優先しているのではないかと。家で時間を過ごすことよさに、気付いていないだけではないか。あまりにも当たり前すぎて、家庭にいることよさに気付けないのではないかと。私にはそう思えるのです。

休校といえども平日は勤務日ですので、私は学校に足を運びます。したがって、私のステイホームは土日限られていますが、その土日に極力外出を避け、家にいることにしました。買い物やドライブに行くのもやめ、家にいることは退屈だと初めはそう思っていました。

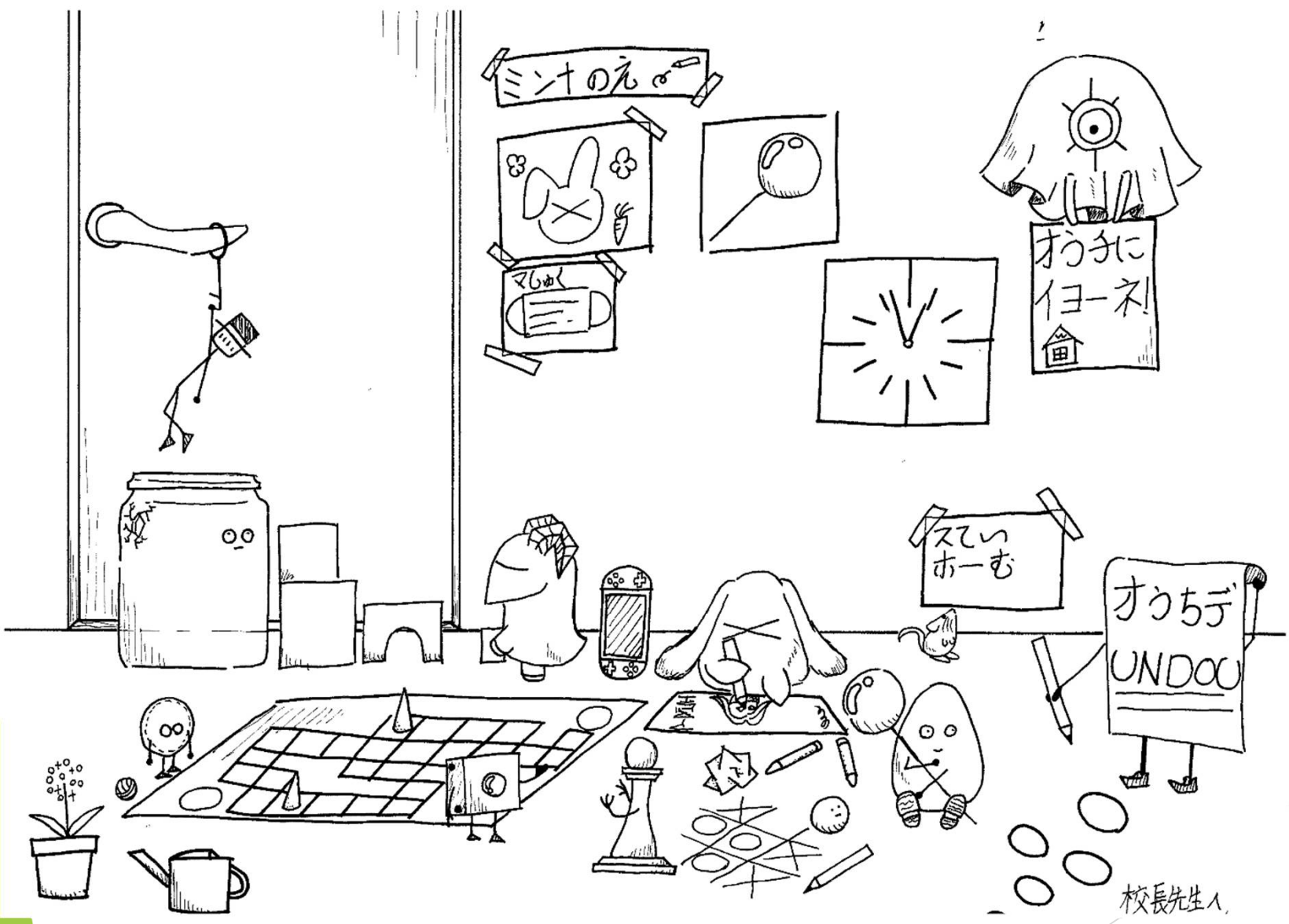
そんな中、家から少し離れた倉庫の中の乱れがふと気になりました。外出が自由にできる土日だったから、「また時間のあるときにやればいいや」と先送りしていたでしょう。

しかし、外出自粛が私の背中を押しました。車の冬用タイヤを移動させたことをきっかけに、倉庫内のいろいろな部分が気になりました。私は知らないうちに倉庫内のものを外に出し、土間をほうきで掃いていました。

その日は一日がかりで整理し、すっきりとした倉庫を作り出しました。「また時間があるときに」と思っていた自分はそこにはなく、美しくなった倉庫にすがすがしさを感じていました。

みなさんにもあるのではないのでしょうか。いつもの部屋を掃除したり模様替えしたりすると、何だかうきうきしてくるような感覚。それはステイホームが生み出す喜びだと私は思います。

(次のページへ)



校長先生へ

(五月二十六日 記)

勉強ばかりでもだめ、ゲームばかりでもだめ、  
YOUTUBEばかりでもだめです。左のイラストのよ  
うにステイホームのイメージを明るくものして、日  
頃できないことの挑戦の時間になると、心持ちまで  
変わってくるかもしれませんよ。ステイホームはも  
うしばらく続くでしょうからね。